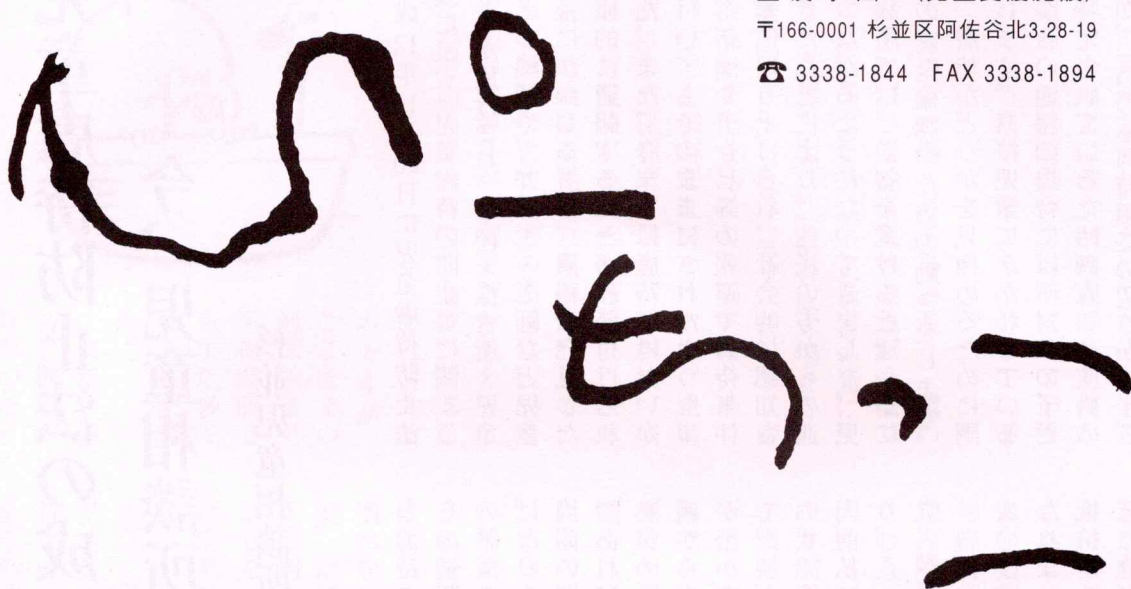


発行 社会福祉法人 聖友ホーム
 聖友学園 (児童養護施設)
 〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-28-19
 ☎ 3338-1844 FAX 3338-1894



(クリスマス会より 聖歌隊
 子ども・職員で がんばりました。)

目次 ●児童虐待防止法の成立をうけて 杉並児童相談所長 元屋恵子 2
 ●ふわふわ 4
 ●あっちこっち 6
 ●このゆびとまれ・もぐもぐ 7
 ●etc 8

児童虐待防止法の成立をうけて

— 今、児童相談所では —

杉並児童相談所長 元屋恵子

平成12年11月20日に児童虐待防止法（正式には、「児童虐待の防止等に関する法律」）が施行され、学校・保育所・児童館などの機関や、弁護士・医師など児童の福祉にかかわる者は、虐待を発見したら積極的に通報することが義務付けられました。また、今までは虐待ではないかと気付いてもそのままにされたような事例も、新聞やテレビ等の報道で虐待事件が頻繁に取り上げられ、社会的に認知されてきたことにより、住民の方からの通報につながるようになってきました。児童相談所では、通報を受けると速やかに児童の安全確認のための動きをします。まず、虐待かどうかを見極めるために調査をします。直接児童にかかわっている機関からの通報の場合には、対象の子どもが特定されているため調査しやすいのですが、「いつも何時頃この辺りから子ども

もの泣き声をする」といった近隣住民からの通報の場合には、その子どもがどこの誰なのかを特定する事から始めなければなりません。子どもの特定が出来たら、周囲の聞き込みをしたり、例えば、幼児であれば保健所などの関係機関から情報を集める、更には、その家庭を訪問して親から事情を訊くなどして、それが虐待か否かの判断をします。家庭訪問に対して家族が了解し協力して下されば子どもは状態把握はしやすいのですが、時には門前払いをされ子どもや家庭の状態が判りづらい事もあります。その場合には、立入調査という方法もあります。

虐待が行われていると判断できたら、次の段階として子どもを保護しなければなりません。親子分離を説得しても親が抵抗する場合には、児童相談所が家庭などに立ち入って子どもを保護します。子

どもが小さければ抱いて連れ出す事も出来ませんが、ある程度の年齢の子で親と離れる事を嫌がったりした時には、無理に引き離す事で子どもの心に傷を残すことにもなりかねません。その場合には、子どもがいる保育所や学校に児童福祉司等が出向き、子どもに話をしてある程度納得させた上で保護するようにしています。

子どもを保護出来たら、ひとまず子どもの生命を守られる状況になったわけですから、次に親と子それぞれにケアを行います。子どもには「あなたのせいではない」という事では無いという事を伝えまします。親には「取り返しがつかない事態を避けるために今は親子の分離が必要なのだ」と説得します。親には、自分が虐待したと認識している親とそうでない親がいて、そうでない親は「自分の子どもをとられた」と児童相談所へ乗り込んで子どもを引取りを要求します。ひどい時には暴れたりしますので職員がなぐられ怪我をするということもあります。

また、親のケアを児童相談所がしようとして子どもを連れていかれた時のショックが大きく、「児童相談所」と聞いただけでフラッシュ・バック様の状態





になって来所できないといった例もあります。その場合には、別の機関と連携をとり親が一番相談しやすい所でケアが受けられるようにコーディネートしています。

子どもの心の傷への手当が進み、親の意識も少しずつ変化し家族調整がうまくいくようになったら、子どもを親の元に戻しもう一度親子の関係を築き直す場を与えることが望ましいと考えます。親と子、両方の様子や変化を見ながら関係者会議を開き、子どもが家庭に戻った時に、児童相談所はじめ保健所、保育所、学校、病院といった機関がそれぞれのように連携をとって親子を見守り手助けをしていくのかを調整します。このような段階を経て親子の繋がりが大丈夫だと思えるようになって初めて虐待の問題は一段落したと言える

のですが、
ここまでの
例は杉並児
童相談所で
もまだ多く
はありませ
ん。

また、虐待の程度が軽かったり

親が虐待を認識し反省しているような場合には、在宅のまま親子のケアを行う事もあります。例えば、子どもとの接触が負担であったり、育児が下手なために虐待行為が生じている場合には、保育所に預けるなどして子どもと接する時間を短くしたり、育児をサポートをしてくれる人に入ってもらったりといった援助をします。今後、児童虐待防止法施行の影響で虐待の通報が増えてくると、児童相談所だけで対応できるのかといった心配が出てきます。そこで、住民の方や関係機関に一層のご協力をお願いすると同時に、虐待に至る前に「予防」することが大切になってくると思います。

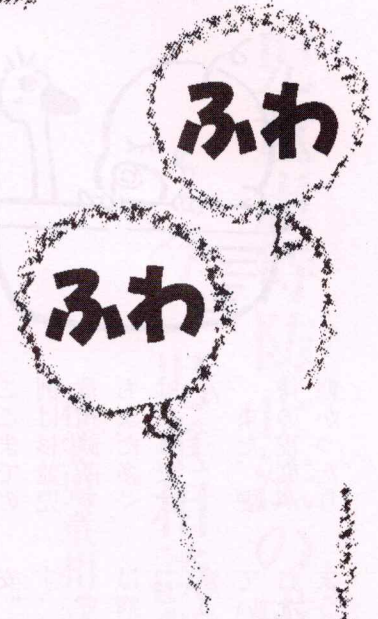
かつて、虐待された経験を持つ親が我が子を虐待するといった世代間連鎖による虐待が目立っていました。最近では新しいタイプの虐待として、親が育児慣れをしていないために生じる「育児不安」が原因であるものが増えてきています。例えば、子どもが思うように食事をしてくれないことが続く、「このままで病気になるってしまわないか」と悩み、「どうしてご飯を食べないの」と叩いてしまう。最初は子どもの事を心配してやっめているつもりだった事が自分でも止められなくなり、やがて虐待行為になってしまうのです。育児不安とか育児に不慣れ

という事が原因であれば、不安な気持ちを受け止めて育児の手助けをする事により、虐待にまで進むことを防ぐことができるのではないのでしょうか。

東京都では、区市町村に子ども家庭支援センターの設置をお願いし、地域での子育て支援を行っていただいています。子ども家庭支援センターの活動内容は様々です。杉並区では中学・高校の年齢層を対象とした「ゆう杉並」がセンターとしての機能を持ち、相談に応じています。また、三鷹市のセンターでは、虐待を受け易い年齢である0歳から3歳位の子どもと親と一緒に訪れ、他の親子のやりとりを見て「自分達もこれでいいんだ」と安心したり、スタッフや他の親と話すことで不安を解消していく、といった場を提供しています。もし、今、育児の袋小路に追い込まれ子どもに手をあげてしまいたいそうなお母さんがいらつしやいましたら、一人で悩まず、そういった機関や児童相談所に相談して下さい。親と子が家庭という場で共に生き、家族の歴史を紡ぎ、想い出を共有していくことは、子どもが生きていく上で大きな力になります。家庭の育児機能の低下が言われて久しいですが、そういう親子関係を見守り支えていくことが児童相談所本来の役割であると思います。

年末の学園行事

も
ち
っ
こ
み
ち

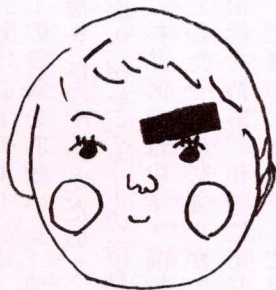
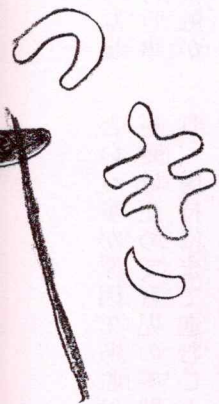


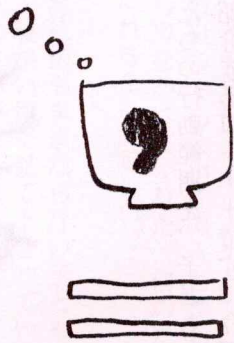
『ふりかけ だーい好き』 ○月□日

幼児のH君は、ご飯を良く食べるのは良いが必ず『ふりかけかけて！』と注文してきます。食事後、ちよつと目を離すとH君の姿が見当たりません。いつもはベツタリくつついて離れないのに：何をしている？：イタズラに違いない！と、部屋の隅でニタニタしているH君を発見しました。空っぽのふりかけの瓶を片手に口のまわりはふりかけだらけで部屋にも撒き散らし：満足そうな表情。「やってくれるじゃん？美味しかった？」に『おいちー』

『お絵かき』 ○月△日

お絵かき大好きなSちゃんとMちゃん。どこから持ってきたのか油性の太いマジックを手にウロウロ……ハッ！と思ひ飛んで行くが後のまつりで、畳・布団・壁……もう笑うしか無かったのです。「上手だね、でも……」とMちゃんの顔を見ると、ご丁寧に眉毛まで太くなったりしちやっついていて：思わず吹き出してしまいました。いろいろやってくれながら大きくなっていくのですね。子どもって……





もちがおいしかった。
特に糸内豆もち。

学園のもちつきは、はじめてだったけど、やってみておもしろかった。
それから、とんじるがおいしかった。

また、やりたいです。

小5 D

日取高な
な！
な！

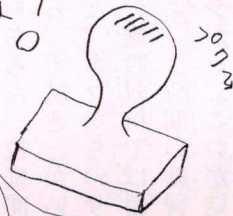
中3 Y

ゆは。りもちつきは



ちよっと大げさ

取手友学園のもちつきは、
楽しんでますよ。みんなであついたもち
時々食べすぎて死にそうになるよ。



日取高
す！！

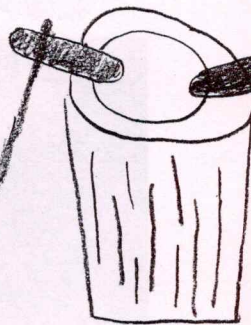


もち

きょうはもちつきがたしかだった。
またもちつきがたのしくでき
るよういたのいいもちつきが
やりたいです。

小1 Y

※学園では毎年12/28に児童総出
でもちつきを行っております。
一年に一回のこと、子どもたち
もこの日を心待ちにしていま
す。



あっすす
しっすす
あっすす

子どもたちの行動範囲を、子どもたちの視点で紹介するコーナーです。今回は遊び場を紹介しようと思ったんですが、さして、どこ？

本気で考えたんだけど、ボクたちって遊び場ないよ。ちゅくか、行かないし…。「寒いからでしょう」だって？ 違う、違う。学校から帰って、何しているかっていうと、だいたいマンガ読んでるか、ゲームボーイかなあ？…。



は無いんだよね。大人の方針だかなんかで、それってズルイよね。それなのに、最近パソコンなんか入れちゃってさ。そういうボクも年賀状はこれで作ったんだ。ところで、遊び場というと1つだけ、毎週行くところがありました。杉九の校庭開放、ここを紹介します。

学園から、歩いて5分。毎日通っている小学校の校庭、指導員のおじさんもいて、ボク、仲良しなんだ。

学園の庭で、サッカーをすることもあれるけど、チビにボールが当たって泣かれるといつも僕たちが悪者になるし、近所からも「うるさい！」って、怒鳴られることもあるし、校庭開放は思い切り遊べる唯一の遊び場ってとこかな。

この校庭を借りて、毎週2回、夕方学園のサッカー部の練習があるんだ。

もちろん、校庭開放の時間が終わってから、手続きとかいろいろあるみたいだけど、ボクたちのサッカーチームは、都内の施設対抗では優勝もした事があるんだよ。1時間の練習を終えて、校庭のブラシかけ、これが結構大変で、当番でやるんだけど、大きいブラシだから振り回されることもあるんだ。

そのころには、もう辺りは真っ暗、時々誰かの忘れ物の黒い影があったり、空には星がぼつり、ぼつり…。



最後に警備員のおじさんに書類を渡して終わり。
子どもがいなくなった学校って静か過ぎて、チヨこわいよ。
こんなチヨこ怖い学校を警備してくれているおじさんたち、ほんとにありがとう！

このゆびとまれ

毎週(土)の夕方になると、ホールから「エイツ、ヤー」と威勢の良いかけ声が聞こえています。今年度から始まった空手指導には、小学1年生、高校2年生まで総勢15名(女子3名含む)が参加しています。そんな子どもたちの様子を、指導して下さっている沖縄上地流空手の新垣館長、指導員の西田さん、山崎さんにお伺いしました。

学園の子の印象はどうでしたか。

…年が離れていても遠慮ない。兄弟のような仲間意識がある。元氣よくやることを目標にしているが、その通りにできていると思う。

子どものエピソードなど何かあれば聞かせて下さい。

…中3のIくんと高1のTくん。初めの頃は、こちらの様子を計られているという感じだった。しかし、実は一番興味を持っていたのは彼等だった。最近では、声もよく出るようになってきている。

…小3のFくんはとても真剣。型をやっている時も全く笑わない。まっすぐ伸びていってほしい。

…中1のMちゃんと小6のAちゃん。この間商店街でニタニタしながら声をかけてくれた。何のためらいもなく、普通に話しかけてくれることが嬉しい。

まだまだ礼儀もままならない子どもたちですが、暖かい目で見て下さっていることを本当にありがたく思いました。子どもたちには、空手を通して、肉体的にはもちろん、精神的にも立派に成長して欲しいと思います。



パーティーや夕食にちょっと変わった一品

手羽ギョーザ

材 料 手羽先、豚挽肉、キャベツ、玉葱

調味料 塩、コショウ、みそ、正油、ニンニク、ショウガ、唐揚げ粉



作り方

- ① 手羽先の部分から骨をぬく(骨は少しまわしながらぬく)。
- ② キャベツの水分をしぼる。
- ③ 挽肉、玉葱、調味料を混ぜる。
- ④ 手羽先に詰めて、蒸す、10~15分くらい。
- ⑤ 唐揚げ粉を付けて、150℃で5分ほど揚げる。

「ありがとう」ございました

いよいよ21世紀、昭和62年4月に木造から鉄筋コンクリート造りに生まれかわった園舎も、15年目を迎えます。最初はピカピカの園舎も設備の不十分な点、建物の破損箇所などが見えてくるようになりましたが、それらの改修には多くの資金が必要でした。

平成4年、あふれる洗濯物を衛生的に素早く処理するための浴室の乾燥システム設備工事。平成8年破損した室内の壁補修と壁紙の貼替。平成10年、汚れと亀裂の目立つてきた外壁の補修と全面塗装工事。

以上は、「財団法人中央競馬馬主社会福祉財団」と、「社団法人東京馬主協会」の援助を受け、実施することができました。また、平成9年には、電源設備工事を行ない、室内に冷房機を取り付けることも可能となり、きびしい熱帯夜から解放されました。これには、「東京都共同募金会」の援助をいただいております。

このようなハード面だけでなく、「ぴーちっこ」でもご紹介していますように、たくさんの方の個人のご支援や企業のご寄付、またボランティアの皆さんの様々な活動など、多くのご支援により、子どもたちが健康やかに21世紀を歩み出すことができましたこと、心より感謝申し上げます。



次の皆様よりご協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。
(平成十二年十月〜十三年一月。敬称略)

△寄付金▽

野口道、中島和代、(有)タイスケ、東和開発(株)、シャレード清水、廣田有美子、(株)ハウジング恒産、(財)雨宮児童福祉財団、杉並区社会福祉協議会

△寄付物品▽

(財)報知社会福祉事業団、ドナルドマクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンドン・フジタ財団、岩崎元男、キリンビール(株)、東京第三友の会阿佐谷方面、東京文化幼稚園、クラブ・デ・トラント、米澤博、日本鏡餅組合、毎日新聞東京社会事業団、東京環境プラント(株)、(株)北村製作所、N T T 杉並支店、佐川急便(株)東京支社清和会、中央花壇、アンシヤンテ、山本、猪股、嶋田孝二郎、(株)ハウジング恒産、アイエヌジー生命広報部、(有)澤本商店、志野サイクル

△パースデーフレンド▽

杉本洋子、原あや子、水野陽子、稲垣宏、佐藤美弥子、岡田多み子、高橋祥泰、村上千代子

△招待▽

(株)ヤクルト球団営業所、土橋勝征・宮本慎也(野球観戦)、テレビ朝日福祉文化事業団(ます釣り)、増島みどり(Jリーグ観戦)、東京海上火災保険(株)総務部社会環境室(サルティンバンコ)、(株)東京三菱銀行社会貢献室(ティズニー映画)、トヨタ自動車(株)宣伝部イベントグループ(トヨタカップ)、やきとり大吉阿佐ヶ谷店(食事)

「荒海に乗り出す子どもたちにせめて

浮輪ぐらい持たせてあげたい」

―自立支援について― 園長 坂田 渥

子どもたちの多くはこの学園を退園と同時に自分の力で生きていかなければならないという現実をかかえています。世間という荒海を乗り切る意志と力を学園生活の中でどのように身につけさせるか、私たち養護施設に課せられた大きな課題です。

いずれにしろ子どもたちは自立に向けて巣立っていく訳ですが、その第一歩を踏み出す時に子どもたちが背負う現実には金銭的負担です。就学であれ就職であれ、入学金・授業料・住居の賃借料・生活用品一式などなどです。その全額を援助することはもとより不可能ですが、せめて一部でも援助してやりたいと、学園としても色々と手だてをつくして努力してきました。しかしその資金的基盤はまことに心もとないのが現状です。

「荒海に乗り出す子どもたちにせめて浮輪ぐらい持たせてあげたい」21世紀を生きる子どもたちの自立のために、今後ともご理解とご支援をお願い申し上げます。

今年3月に卒園し短大に入学することになった子どもの入学金と支度金を「(財)雨宮児童福祉財団」から助成して頂きました。ありがとうございました。